第26号　平成28年３月１日発行

2015
12月定例会
NO. 26

まつえ
MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

美保神社拝殿

青石畳通り

浮島橋と常夜灯

夫婦岩

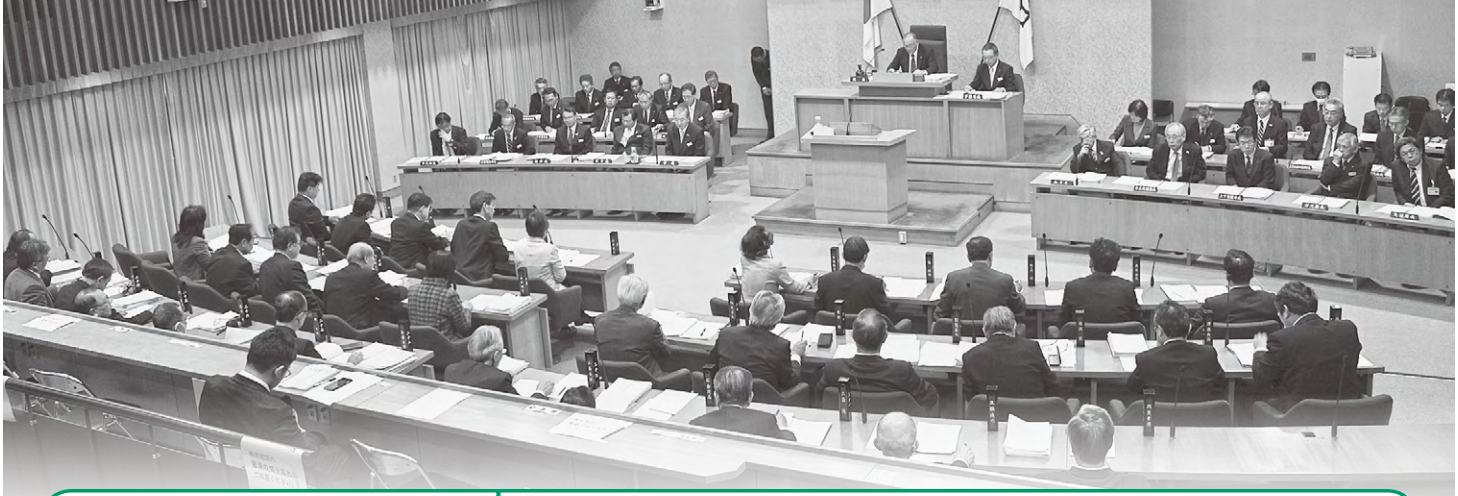
平成の
松江風土記⑪

漁業と海の玄関口　美保関

美保関は古くより北前船をはじめ諸国の船が往来し、風待ちの港として栄えたまちである。美保神社の本殿は、大社造りの社殿が左右に２棟並んだ独特の様式で、美保造りと言われ、国の重要文化財に指定されている。

大鳥居から約200メートル続く青石畳通りは、昔ながらの風情を残し、弁天崎の波止場にある浮島橋と港の常夜灯とともに、市民に愛されているスポットである。また、夫婦岩は、子宝に恵まれると言われ、縁結びの名所として知られている。

発行・松江市議会　編集・議会広報等特別委員会



12月定例会

平成27年12月2日～12月18日

本市のまちづくりの指針となる総合計画を策定する条例の制定などを可決

12月定例会は、一般会計1件、特別会計6件、公営企業会計6件、計13件の平成27年度補正予算案のほか、条例案件18件、一般案件20件、議員提出議案3件を審議し、全て原案どおり可決しました。

一般質問には18名の議員が立ち、TPP大筋合意問題、地方創生、原発に関することなど、さまざまな分野で論戦をくり広げ、市長及び執行部の見解を問いました。

平成27年度補正予算

一般会計　16億4,133万円の補正（補正後の総額1,024億9,766万円）

鉄工団地用地取得費	4億1,964万円
住宅活用事業費（歴史文化まちづくり推進事業費）	5,084万円
私立保育所運営関連経費	4億8,101万円
アスベスト対策費	1,300万円
内部情報系システム管理運営費	2,430万円　など

特別会計　▲2,691万円の補正（補正後の総額499億8,986万円）

国民健康保険事業	1億1,977万円
介護保険事業	▲182万円
簡易水道事業	▲2億624万円　など

公営企業会計　▲3億2,578万円の補正（補正後の総額390億9,920万円）

水道事業	▲2億2,804万円
下水道事業	▲1億5,882万円
自動車運送事業	▲2,165万円
病院事業	8,446万円　など

子育て支援の充実に向けて

条例の制定・改正（主なもの）

松江市総合計画条例の制定

本市のまちづくりの基本理念のもとに、市の将来像の実現に向けた基本目標と取り組みを具体的に示し、基本構想及び実施計画で構成する総合計画を策定する。

松江市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

番号法（マイナンバー法）で定められていない事務でも、マイナンバーを市独自に利用できる事務（社会保障、税、防災の分野のみ）や、市内部でも情報連携できる事務を定めて、利便性の向上や事務の効率化を図るため、条例を定める。

松江市保育料条例の一部改正

子ども・子育て支援法の規定に基づき、就学前の児童が、私立幼稚園や私立認定こども園を利用する場合の保育料の額について、松江市立幼稚園を利用する場合と同様となるよう改正する。

市政のここが聞きたい　18人の議員が質問

12月定例会　一般質問

12月定例会では、12月7日から12月9日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

三島　良信（みしま　よしのぶ）（松政クラブ）

- **総合計画について**
- 島根原子力発電所について
- 公民館とまちづくりについて
- 児童虐待防止について
- 携帯電話やスマートフォンの使用について

質問　総合計画策定に向けての考えや思いは

平成17年合併時に新市まちづくり計画が策定された。その後、松江市総合計画（平成19～平成28年）が策定されている。この総合計画策定では、自治法の改正により「住民本意の計画策定への転換が図られ、全国一律でなく市町村の独自性や特色を生かせるようになった」とするが、どのような考えで創るか。

回答　従来のスタイルにとらわれず「新たな総合計画」として創り上げたい

これまでは、10年サイクルだったが、社会経済情勢や新たなニーズへ的確に対応するため5年間に設定した。PDCAサイクルの確立と共に、議会・市民に分かりやすく、施策内容や進捗状況を示し情報共有していく。

地方創生の実現は最大の課題だ。総合戦略は人口減少・少子化対策に絞って策定していることから、この視点に加えて、まちづくり全体の指針となる様に創る。

会派代表質問

森脇　勇人（もりわき　はやと）（松政クラブ）

- 中期財政見通しについて
- 来年度予算編成について
- **半島振興法について**
- 公共施設適正化について
- TPP協定大筋合意について
- 中海・本庄工区の利活用について

質問　事業の展開に大いに利用すべき

今回特に防災機能強化に資する道路整備事業について、充当率75%から90%に引き上げられ、元利償還金の30%が交付税措置され、実質の措置率も27%となった。半島で連なった地域による広域的な事業や取り組みに対して事業費の2分の1、民間団体だと3分の1の補助事業が新たに創設された。えびす・だいこく100キロマラソンなど対象になるが所見を伺う。

回答　事業の具体化、連携強化に取組みたい

補助制度として半島振興広域連携促進事業が創設されたところであり、交流促進・産業振興・定住促進といったソフト事業に補助を行うことができ、県、関係市、民間団体と連携し取り組んでいきたい。県の振興計画案には、市が要望した地域高規格道路境港出雲道路の早期整備、超高速通信ネットワーク環境の整備等が反映されている。県との連携、出雲市との連携強化に努めたい。

会派代表質問

南波　巖（なんば　いわお）（真政クラブ）

- 地方創生について
- **学校施設等に関わるアスベスト対策について**
- 松江保健所跡地利用について
- 城山北公園線事業について
- 建設産業の魅力発信について
- 入札制度改革について
- 簡易水道統合問題について

質問　学校施設等のアスベスト対策について

松江市では、相当数の学校施設等に含有建材が使用されており、順次調査、撤去工事を行っていくという事だが優先順位をつけて施工していくという代物ではなく、即一斉に撤去する必要があると考えるが、所見を伺う。

回答　来年度4施設の撤去工事に着手する　煙突は調査と囲い込み工事に着手する

本市の学校施設について、吹き付けアスベストが残っている施設が4施設、含有の可能性のある煙突が26本ある。4施設については、来年度、速やかに撤去工事に着手する。煙突については、現在、含有が不明なものの調査を進めるとともに、使用停止したものについては、飛散しないよう囲い込み工事の準備を進めている。又、これまで使用していた煙突については、今期は運転を見合わせ、来年度の出来るだけ早い時期に対策工事を実施したいと考えている。

会派代表質問

川井　弘光（かわい　ひろみつ）（市民クラブ）

- **人口ビジョンと第1次総合戦略**
- 松江城天守国宝指定を契機とした施策の展開
- 図書館の充実

質問　医療・介護・保育分野の雇用確保を

第1次総合戦略の重要課題として取り上げられた雇用拡大策のうち、医療・介護・保育分野での雇用確保対策が松江市にとって最も大切だと考えるが、市長の見解を問う。また、雇用全般の質（非正規雇用から正規雇用への移行、労働時間短縮など）を高めることが、「住みやすさ」の向上につながるが、今後の対応策を問う。

回答　UIターン支援などの対策をすすめる

医療・福祉分野は、雇用確保において極めて大事な職種。地域包括ケアシステムの構築を進める中で、この分野の人材を確保したい。さらには、「医療介護福祉職松江UIターン応援事業」を実施し、国・県と連携してUIターン者を支援する。雇用の質を高めるには、雇用主・企業の理解が大切であり、商工会議所などを通じてその重要性を訴えていく。働く側の皆さんにワークライフバランスの重要性を理解してもらう場も設定したい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

田中　明子（公明クラブ）

- 平成28年度予算編成
- 地方創生・地方分権改革
- **高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種**
- 児童虐待防止
- ひきこもりの高年齢化対策

質問　対象者への肺炎球菌ワクチン予防接種の周知徹底を

肺炎はがん、心臓疾患に次いで日本人の死因の第３位。特に高齢者が肺炎にかかると命を落とすケースが多い。一番の病原菌は肺炎球菌で予防接種を受けると軽い症状ですみ、５年間は効果が持続。市の助成制度により普通7、8千円のところ３千２百円で、経過措置として65歳、70歳、75歳と５年刻みで受けられる。高齢者の健康寿命延伸と医療費削減のため、未接種の対象者に漏れがないよう、再度個別にお知らせをしてほしい。

回答　年度末に向け、接種忘れがないよう市報で呼びかけ

肺炎球菌の感染症から一人でも多くの人を救うために、節目年齢への周知に努めている。市においては年度末に向け、接種忘れがないかを市報で呼びかける。また各医療機関へ注意喚起の周知ポスターの掲示依頼を行う。

会派代表質問

橘　祥朗（共産党議員団）

- 戦争法（安全保障法制）について
- **原発再稼働問題について**
- TPP「大筋合意」について
- 地方版総合戦略と予算要望について

質問　再稼働課題は未解決、再エネ拡大こそ

不可能な火山の噴火予知、不十分な避難計画、核廃棄物の最終処分地問題も見通しはない。何よりも放射能を制御できない科学の現状で、再稼働は許せない。

高速増殖炉（もんじゅ）の事故、六ヶ所村の再処理工場も完成しておらず核燃料サイクルは破たんしている。

滋賀県湖南市は、市民発電所の設置に行政も協力、配当は商品券で地域振興も。ミニ水力発電やイモでガス発電も研究。松江も再エネ拡大・研究に専門担当配置を。

回答　原発当面必要、再エネ専門職員養成を

危険な原発は減らすべきだが当面必要。そのためにも、再稼働には安全性確保が最重要と考える。

使用済核燃料の増加を考えると、燃料サイクルと最終処分場問題の解決は、国が責任を持って進めるべき。

太陽光発電やバイオマスに取り組んでいる。上下水道局でも小水力発電を計画中。専門の職員養成を図る。

三島　進（松政クラブ）

- **建築物等の解体時における残置物の取り扱いについて**
- 漂着物の処理の取り扱いについて
- 都市計画税について

質問　建物解体時の残置物の取扱いは一般廃棄物と産業廃棄物の両許可が必要か

建物解体時の残置物の処理には、一般廃棄物と産業廃棄物の両方の許可が必要と思うが、行政の考えを伺う。

回答　残置物処理については両方の許可が必要である

両方の許可は必要であると考えているが、経済性の確保等の要請よりも環境保全を重視するということで、新規の一般廃棄物の許可は行わないこととしている。

残置物の処理については、排出者において、責任を持って仕分けして頂くことと考えている。

また、市の発注の事業で、道路維持や河川管理に伴う竹木等の処理も一般廃棄物として発注している。収集運搬は自己搬入をすることとしている。運搬を他社等に頼むと産業廃棄物となる。

野々内　誠（松政クラブ）

- 元気な高齢者を増やす取り組みについて
- **農業用施設の整備について**
- 公民館と地方創生について
- 河川の浚渫について
- 松江市の観光戦略について

質問　農業用水確保に多面的な支援を望む

農業用水確保のための施設の多くは、河川に水をためる井堰であるが、経年劣化のために破損が目立ち用水の確保が困難になってきている。

有利な改修事業は高いレベルの農地集積・集約を求めており、水系単位の小規模の取り組みは困難だ。井堰の全面改修が望ましいが、負担が少額な汲み上げポンプや掘りぬき井戸など、後継者が営農をあきらめない多面的な支援が必要である。

回答　対策を一緒になって考えたい

今のままでは地元負担が大きいし、井堰以外の手法で用水確保をしようとしてもこれも難しい状況だと把握している。質問の意宇川地域は集積率が低いので、10年先を考えると農地の持続的な活用を今後も続け農業用水をきちんと確保することが基本だ。今後粘り強く地元説明会を開き、対策を一緒になって考えたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

石倉　茂美（いしくら しげみ）　（真政クラブ）

・中海におけるボートコース復活等水上スポーツエリアの整備について
・TPPについて
・旧松江市の公衆トイレについて

質問　観光客の為に、きれいな公衆トイレ日本一を目指すべきだと思うが如何か

松江城も国宝になり観光客も増えているが、新たに「きれいな公衆トイレ日本一」を目指すべきではないか。

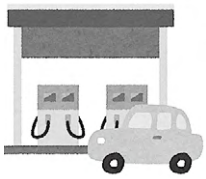
回答　行政を含め、市民の皆様と一緒になって常時公衆トイレをきれいにしたい

松江を訪れた方が、公衆トイレを利用し、松江の印象を大きく変えることはあると思う。例えば、現在、城山のトイレには、さりげなく花が活けてあり、観光客に対する「おもてなし」の気持ちを感じているが、松江城が国宝になったのを機会に、少なくとも中心部における公衆トイレについて、一斉に点検をすることも必要だと考えている。そして、行政を含め、市民の皆様と一緒になって、日常的に、見守り・美化運動をすすめ、公衆トイレをきれいにしていくことが大事ではないかと思っている。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

・教育関連予算と通学路の防犯・安全対策の拡充について
・水素ステーションの導入について
・災害時のトイレについて
・校庭芝生化の諸課題と今後について
・電子メディア対策について

質問　水素ステーション導入の政策立案に向けた取り組みはいかがか



政策部において行政所管間の多岐にわたる規制や国の制度、政策的後押し、中海・宍道湖・大山圏域の都市間連携、技術開発、革新等についての調査研究をし、松江市への水素ステーション導入の政策立案に向けた取り組みをしてはいかがか。

回答　水素ステーションを含めた代替エネルギーの導入に向けて検討する

国において平成28年度からエネルギー構造転換理解促進事業を創設することとなっている。今後原子力にかわる代替エネルギーの導入に向けて、この事業を積極的に利用し、水素ステーションを含めた代替エネルギーの導入に向けて検討する。

畑尾　幸生（はたお こうせい）　（市民クラブ）

・農林業センサスから今後の農林水産業を展望する、TPP対策
・教育関係予算
・中核市移行（保健所問題）

質問　教育関係予算について

平成27年度、備品費や図書整備費・消耗品費など小中学校の学校運営に係る予算は、24年度と比較して約13%減っている。この間、消費税のアップもあり、実質購買力はもっと少なくなっている。小中一貫教育の推進などに力をいれろと言われても創意工夫の余地をなくすということはいけない。

回答　学校運営の予算については、予算科目の統合及び必要なものは予算化する

23年度から26年度までは増額で推移していたが、27年度は大幅に減額した。学校運営に苦慮されていることは理解している。28年度からは、教材備品と教材消耗品の予算科目の統合などを行い執行しやすくするとともに必要なものは予算措置に努める。

吉儀　敬子（よしぎ けいこ）　（共産党議員団）

・関係者に納得のいく公共施設適正化を
・松江市総合戦略の教育・子育て分野について
・市民農園利用者と市担当課の定期懇談の開催を

質問　施設廃止公表前に、関係者に説明を

公共施設適正化計画案が示された。特に「ホットランドやくも」と「メテオプラザプール」の廃止は、教育委員会としてどのように対処するのか。

東出雲町の老人福祉センターは、毎日風呂に入りに来る人が20人弱いるが、廃止の説明はない。東出雲町の4公民館を統合することも正式な話し合いはない。関係者との十分な話し合いの場を持つべきではないか。

回答　関係者の意見頂き最終的な方向を出す

今後、プールの劣化状況、改修経費、民間施設の活用などをふまえた市内全体の学校プール利用計画を、平成28年夏を目途に策定する。

公共施設適正化の着実な推進のため、まず市の考えを示した上で、関係者から意見をいただきながら、最終的な方向性を出す。公民館1館体制と公設自主運営方式への移行も、関係者と十分協議して進める。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

新井（にい い）　昌禎（まさただ）　（友愛クラブ）

・地方創生への取り組みについて
・教育の充実による地方創生について
・スマートフォン利活用による高齢者サポート・健康増進・地域活性化について

質問　今後のふるさとスマホ導入について

自治体スマホ連絡協議会が発足した。ふるさとスマホという新しい公共インフラを活用し、超高齢化の進展、独居高齢者の増加、医療費の増加といった自治体共通の課題を解決できる可能性が出てきている。この連絡協議会は、各自治体の取り組みの成功例や失敗例の共有化に活用され、各自治体に展開していくこととなっているが、今後のふるさとスマホの導入について伺う。

回答　新しい取り組みであり、実証実験の状況を注視していきたい

ふるさとスマホについては、行政と利用者が双方向でやり取りできる仕組みになっている。この仕組みは、新しい取り組みであり、今後、自治体スマホ連絡協議会での実証実験の状況をぜひ注視していきたいと考えている。

芦原（あしはら）　康江（やすえ）　（無会派）

・原子力防災訓練課題について
・原子力災害時のスクリーニングのあり方について
・自立生活を希望する障がい者のための住宅政策について
・障がい者差別解消条例策定におけるジェンダー視点の検討について

質問　原発事故時の高すぎるスクリーニング基準値に対する見解を伺う

原発事故時には、原発からおよそ30km地点においてスクリーニングと除染が行われることになっている。その基準は、原子力規制委員会で検討が行われた結果、表面の汚染密度で1平方センチ当たり120ベクレルとされた。安定ヨウ素剤服用基準は50ミリシーベルトとなっており、その6倍に相当する。この基準値では高すぎると考えるが、見解を伺う。

回答　総合的な評価、判断の元に決定された

原子力規制委員会では、避難等を行う際に放射性物質による汚染状況を確認するためにスクリーニングについて新基準を示された。除染の判断基準値については、有識者等による検討チームで科学的な意見や専門家の意見などを踏まえ、原子力災害対策指針で定められており、妥当な値として決定されたものと考えている。

片寄（かたよせ）　直行（なおゆき）　（共産党議員団）

・原発問題と防災
・国民健康保険

質問　基金取り崩し、国保料引き下げを

国保の中期財政見通しを示されたが、今後の保険料の見通しはどうなるか。国保基金の取り崩す計画がないのはおかしい。取り崩して引き下げに回せば一人いくら下がるか。

回答　15.6%程度の引き下げ効果となる

今後の保険料を推計し中期財政の見通しをたてたところ、平成28年・平成29年は、平成26年・平成27年と同額の据え置き料金となった。

財政運営の仕組みや基金の取り扱いなどを含めた国保運営方針のガイドラインが（平成28年）3月に示される。現段階では、急激な医療費の増加等に柔軟に対応するためには、基金を残した状態での都道府県化に移行することが望ましいと考えている。

基金の5億8000万円を投入すれば、1年では15.6%程度の引き下げ効果がある。

柳原（やなぎはら）　治（おさむ）　（松政クラブ）

・TPP交渉影響について
・安全・安心なまちづくり
・マイナンバー通知について

質問　TPP交渉大筋合意結果について、市長の見解は

国会決議で聖域確保が求められていた重要品目でさえ、特別輸入枠の設定がされ、牛肉、豚肉は関税の大幅な削減となった。TPPで日本の農業は大きな打撃を受けることは、多くの人の共通意見である。見解を伺う。

回答　農林水産業において、価格下落に対して強い不安、懸念がある

TPP交渉について、経済のグローバル化が進んでいる中では、この議論は避けて通れない。しかし、我が国の産業界、特に農林水産業界において、安い農産物が日本の中に入ってくることで、価格下落に強い不安、懸念がある。農山漁村地域活性化基本条例と国の施策をフル活用し、小規模農家、農村の維持に努める。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

貴谷（きたに）　麻以（まい）　（真政クラブ）

・若者子ども女性の貧困等について
・居場所、学生カフェや子ども食堂
・中小零細企業・小規模事業について
・女性の登用について
・社会における人権教育について
・共創のまちづくりの主権は住民
・内外へPRすべきボランティア精神
・原子力発電所再稼働と新規稼働

質問　女性登用で皆が生きやすい社会へ

少子化にならない社会というのは女性が生きやすい社会であり、女性が生きやすい社会というのは男性も生きやすい社会であるが、まだまだ生きやすいと言えない。働きやすい職場の環境整備、登用計画等について伺う。

回答　職場環境整備を続け、計画を策定する

女性の管理職比率は15%、係長級以上比率は男性と同じ40%程度が現在目標である。職員の育児休業取得期間中は代替職員を配置するなど、職場環境整備に努めている。女性活躍推進法に基づき今年度中に計画を策定する。

宅野（たくの）　賢治（けんじ）　（友愛クラブ）

・人口減少時代に立ち向かう戦略
・農業問題・耕作放棄地と農業委員
・松江市の鳥獣被害対策
・今までの質問の追跡質問

質問　介護ボランティアポイント制度導入の進捗状況について

平成25年9月議会にて、介護予防の観点から介護ボランティアポイント制度を創設すべきと提案し、他自治体の実施状況を調査し検討するとの回答であったが、進捗状況を伺う。

回答　共創の手法で、制度を創設したい

平成26年度時点で全国235自治体が導入している。多くは介護予防を目的とし65歳以上の高齢者が介護施設等でボランティアや要介護者の外出補助した場合ポイントを付与し、たまったポイントに応じて商品交換、換金などが出来るものであるが、松江市においては介護以外の活動への拡充も含めて松江市総合戦略の事業として検討している。制度の内容等について、市が開催する「松江共創・協働マーケット」にも提案し、共創の手法により制度を創設したいと考えている。

議員提出議案

件　　名	結　果
議員提出議案第11号　「議第288号　平成27年度松江市一般会計補正予算（第3号）」に対する附帯決議	可　決 （賛成多数）
議員提出議案第12号　児童虐待の防止に向けた体制強化を求める意見書について	原案可決 （全会一致）
議員提出議案第13号　TPP協定交渉の大筋合意に対する国内農林水産業への対策強化を求める意見書について	可　決 （賛成多数）

松江市議会として市に関わる重要な事柄について国に意見書を提出しました。（議員提出議案第12号、第13号）

陳情の審議結果

件　　名		提　出　者	結　果
陳情第19号	松江市の拠点形成計画における松東地域の中間拠点づくりについて	松東地域中間拠点づくり推進協議会 会長　久保田　明雄	—※1
陳情第20号	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求めることについて	在日本大韓民国民団島根県地方本部 団長　金　吾男	不採択
陳情第24号	ヘイトスピーチの禁止等に関する法律の整備を国に求めることについて	あと一秒、の会 共同代表　渡部　通恵　池田　博子	不採択
陳情第25号	国民皆保険制度の維持・発展の意見書提出を求めることについて	島根県保険医協会 会長　岩田　兼正	不採択
陳情第26号	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の提出について	名護市議会議員 陳情者代表　宮城　安秀	不採択
陳情第27号	認可外保育施設利用者への保育料の補助を求めることについて	バンボハウス 赤松　利都子	—※2

※1　閉会中に審査を行うことに決定しました
※2　この陳情は取り下げられました

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

公共施設再配置の取り組みなどを視察

平成27年10月26日～28日
総務委員会　委員長　吉 金　　隆

【静岡県静岡市】オープンデータの取り組みについて
【愛知県豊橋市】シティプロモーションの取り組みについて
【愛知県西尾市】公共施設再配置の取り組みについて

静岡市のオープンデータは、個人情報に関わるもの以外を利用しやすくして提供することで、的確なサービスや商売が可能となります。豊橋市のシティプロモーションは、人口減少社会に向けて「選ばれる自治体」となるべくイメージの向上でありシティセールスであるなど松江市にも必要性を感じました。

また、西尾市は、2011年に幡豆郡一色町、吉良町、幡豆町を編入合併し、人口16万5千人、面積161㎢の自治体となり、新たなまちづくりを3年後の2014年からスタートしました。第1次実施計画は西尾市公共施設再配置実施計画とも呼ばれ、2018年までの5カ年計画となります。自治体が合併すればおのずと重複する類似施設が発生することは明らかであり、それを合併3年目から着手されるスピード感に敬服しました。その進捗は、「再配置」という言葉の優しさもありますが、市経済の堅調さや面積が狭く移動が簡単なことにも帰依していると思いました。

豊橋市のシティプロモーションの取り組みについて視察

次世代の農業と、世界農業遺産での取り組み

平成27年10月20日～22日
経済委員会　委員長　川 島 光 雅

【富山県富山市】富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点について
【石川県羽咋市】神子原地区活性化計画概要について
【石川県珠洲市】世界農業遺産と地域ブランド化の取り組みについて

富山県や富山市、農業協同組合などや産業廃棄物を扱う会社が構成員となり、国の次世代施設園芸加速化支援事業の支援で平成27年6月に竣工した、廃棄物焼却発電を利用しIT技術でトマトやトルコキキョウ等の花卉を栽培している協議会を視察しました。28棟のハウス栽培で、自動で温度、湿度、照度等を測定すると共に品質管理のデータ解析をしておられました。トマトは糖度が高く供給が追いつかないほどであり、トルコキキョウは水耕栽培で年3回の出荷を目標にしているとのことでした。地域資源エネルギーを有効活用した循環型農業モデルで農業生産の効率化や雇用確保の大きな手本になりました。

トルコキキョウの水耕栽培について指導員の説明を聞く

羽咋市では、ローマ教皇にお米を献上して有名になった神子原地区の農村の人を動かす「メディア戦略」や「ブランド戦略」、「交流戦略」などについて、また松江市と姉妹都市である珠洲市では世界農業遺産「能登の里山里海」取り組みについて伺いました。

予算決算常任委員会、政務活動費などを視察

平成27年11月11日～13日
議会運営委員会　委員長　三 島 良 信

【三重県鳥羽市】タブレット端末について、予算決算常任委員会について
【三　　重　　県】予算決算常任委員会について、政務活動費について
【東京都多摩市】決算事務事業評価について

今回は、予算・決算審査を主とした視察を行いました。

三重県議会では、予算を各常任委員会へ分割付託されていましたが、議案一体の原則から問題があり、付託方法の見直しを検討されていたところ、平成18年6月の地方自治法改正により、議員の常任委員会への複数所属が可能となったため、平成19年4月から予算決算特別委員会に代えて、予算決算常任委員会を設置し、予算を一体的に審査することで、議案一体の原則による問題が解消されました。

松江市議会においても、現在同様の問題に取り組んでおり、今後委員会審査の方法を協議するうえで大変参考になりました。

また、同県議会では政務活動費の公開をされており、その使途基準などを定め、透明性の確保に努めておられました。

次に、鳥羽市議会ではタブレット端末と予算決算常任委

視　察　報　告

英語教育や複合型福祉タウンなどを視察

平成27年10月26日～28日
教育民生委員会　委員長　津 森 良 治

【滋賀県彦根市】彦根市立病院における地域医療連携の取り組みについて
【福井県越前市】英語教育の推進について、医療・介護連携推進事業（顔の見える多職種連携会議）について
【石川県金沢市】複合型福祉タウン〈シェア金沢〉の整備について

越前市の各小学校においては、５・６年生の外国語活動を円滑につなげるため、３年生から英語に慣れ親しむ活動に取り組んでいます。英語教育の本格実施を念頭におき、児童の学力向上のため、県教委・市教委・学校が協力して、いち早く体制整備を進めようとする積極的な姿勢は見習うべきと感じました。

また、越前市は医療と介護の連携も進んでいます。医療介護関係者が情報共有するための連携シートが作成され、実際の現場に活かすための取り組みが始まっています。

複合型福祉タウン「シェア金沢」を視察

彦根市立病院は、松江市立病院と規模が似ており、地域医療連携のためのカルテの情報共有の取り組み等が大変参考になりました。

社会福祉法人佛子園が金沢市内に整備したシェア金沢には、約3.6haの敷地に様々な福祉施設が集約され、障がい者や高齢者が自然に支え合うまちがつくられており、全国的にも注目されています。こうした民間の力と行政との協力は、本市においても重要です。

歴史的な町並みを歩いて

平成27年10月20日～22日
建設環境委員会　委員長　田 中 明 子

【滋賀県湖南市】地域自然エネルギー地域活性化戦略プランについて
【奈良県橿原（かしはら）市】今井町重要伝統的建造物保存地区について
【奈良県奈良市】奈良市における景観政策について、奈良町都市景観形成地区の現状等について

奈良県橿原市において、重要伝統的建造物保存地区に指定されている今井町を視察しました。江戸時代初期のころの町並みを今に残す、そのご苦労は大変なものであると思います。しかし、まるでタイムスリップしたかのような江戸時代の大きくて立派な旧家が見事に修復され、しかもその建物の中で日常生活を営まれながら立ち並んでおり、ずっしりと重みがあります。ともすればすぐに観光地化してしまいがちですが、古く美しいものは生生世々（しょうじょうせせ）後世に残し伝えるべきものであって、観光地にして広く見世物にしないというのが橿原市の考えであります。

今井町重要伝統的建造物群保存地区の町並みを視察

これから先、建物がどんどん老朽化すると修理代がかかり、市としての持ち出しも大きな負担ではと考えると大変な事業だと感じます。我が町にも江戸情緒たっぷりの松江城とその周辺は何としても守らなければならない風景があります。先人が残してくれた宝物を残すことの大切さと困難さを学びました。

員会について視察をしました。

タブレット端末の説明では、本会議の審議、委員会の審査並びに調査、事務連絡などの活用方法について聞かせていただきました。

特に、電話回線が不通となった場合の第２の通信手段として、本庁との連絡にインターネット回線を利用したFaceTimeと呼ばれるテレビ電話としての使用も可能であり、災害時における議会活動にも寄与するとのことでした。

最後に訪れた多摩市議会では、平成24年６月に予算決算特別委員会が設置され、決算審査、政策評価などを通じて翌年度の予算編成につなげる取り組みについて聞くことができました。

これらの視察内容をふまえ、今後の議会運営並びに議会の活性化に生かしていきたいと考えています。

鳥羽市の議会でのタブレット端末活用方法などを視察

戦国時代に思いをはせる～富田城跡視察～
島根県東部四市議会議員交流会開催

平原館長の説明を熱心に聞く議員

10月17日(土)に島根県東部四市（雲南・出雲・安来・松江）の議会議員交流会を安来市広瀬中央交流センターにて行いました。最初に、境港港湾管理委員会事務局長の細羽正氏に「境港へのクルーズ客船誘致による山陰の活性化について」と題し講演いただきました。

続いて、松江城とも縁の深い月山富田城跡を、広瀬交流センター館長の平原金造氏に案内いただき視察を行いました。現地視察の前に富田城の概要説明、歴史背景等について説明を受けました。富田城は月山を中心にした丘陵上に防御施設を配した山城で、戦国時代の大名尼子氏の本拠城で難攻不落の堅城として有名です。尼子氏滅亡後は毛利氏を経て吉川氏、そして堀尾氏へと城主が替わり、堀尾吉晴氏が本拠地を松江城に移転したため廃城となりその役目を終えました。国宝指定された松江城に関わりの深い富田城跡そして月山周辺を、戦国時代に思いをはせながら視察することができました。

協働の必要性を確認 ―共創・協働研修会に参加

協働の必要性を訴える川北講師

11月9日（月）、議員・市職員・そして市内NPO関係者の皆さんとともに「共創のまちづくり」の実現に向けて、官民協働がなぜ求められるのか、その意義と実現に向けたポイントなどをIIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表の川北秀人氏からお話を聞きました。

20年後の松江市は、生産人口の減少とともに85歳以上の人口が9人に1人になるという現実が待ち受けています。協働は不可避どころか、加速度的に進める必要があることを改めて認識しました。

2月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
2	24	水	本会議（会期の決定、委員長報告・質疑、討論、採決、提案説明、予算特別委員会設置） 予算特別委員会（正副委員長互選）
	29	月	本会議（一般質問）
3	1	火	本会議（一般質問）
	2	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	3	木	予算特別委員会（質疑、分科会委託）
	4	金	総務委員会・予算特別委員会総務分科会
	7	月	総務委員会・予算特別委員会総務分科会
	8	火	教育民生委員会・予算特別委員会教育民生分科会
	9	水	教育民生委員会・予算特別委員会教育民生分科会
	10	木	経済委員会・予算特別委員会経済分科会
	11	金	経済委員会・予算特別委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	14	月	建設環境委員会・予算特別委員会建設環境分科会
	15	火	建設環境委員会・予算特別委員会建設環境分科会
	18	金	予算特別委員会（分科会長報告・質疑、採決）
	24	木	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

議会事務局 総務課　TEL55－5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

編集後記

議会だよりの編集には、最低3回の委員会の開催を始め、担当記事の原稿書き・写真撮影、各議員からの一般質問の原稿取りまとめ・チェックなど多くの時間を要します。他の委員会に比べると実務が格段に多いのが特徴です。

8人が委員として編集にあたっていますが、その内4人が新しい委員です。限られた紙面の中での記事や写真1枚にも苦労しながら、年4回の発行に努力しています。

広報紙発行には不慣れで、未熟な点もあると思いますが、伝えたい気持ちは熱いものがあります。ご一読とご意見をお願いします。

議会広報等特別委員会委員　野々内　誠

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいています。

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話（0852)55-5433
ファックス（0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレスが変わりました
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/